

平成 26 年度事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

I 世界に開かれた県民意識の向上の推進

【目標】

県民が、世界の人々と対等で良好な関係が築けるよう意識の向上を推進する。特に、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つ次世代を育成するため、様々な事業を展開するとともに、行政や民間団体等と連携・協力していく。

【目標指数】※

項目	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績(達成率)
当協会が企画する 国際理解講座数	42	56 (133%)

※ 【目標指数】は、当協会第 4 期運営基本計画(平成 23 年度～平成 27 年度)に基づく。

【事業実績】

1 多様な交流や国際理解の推進

(1) 国際理解出張講座

県内の学校や公民館・学習センターなどに当協会役職員等が講師として出向き、県民を対象に外国の異文化や環境問題、貧困等世界規模の課題をより深く理解してもらうための国際理解講座を下記のとおり様々なテーマで実施した。

- 講座名と実施回数 計 56 回(前年度比 119%)
 - A 外国人とトモダチ (4 回)
 - B 違って当たり前!～異文化理解のために～(12 回)
 - C じゃがいも君とお話～偏見って何?～(5 回)
 - D 世界がもし 100 人の村だったら (10 回)
 - E これってアリ?～常識と非常識～ (20 回)
 - F 写真で学ぼう、世界の食卓(5 回)

○ 内訳

No	月 日	場 所	対 象	参加 人数	講座名	講師 (敬称略)
1	5月10日	福島市西学習センター	小学生	10	A	理事 布田節子 ふくしまユースグローバルカレッジ 1 期生 松井美樹

2	6月3日	福島大学	大学生	22	E	主任主査 幕田順子
3	6月26日	本宮市立白岩小学校	小学生	32	A	理事 布田節子
4	6月26日	本宮市立糠沢小学校	小学生	30	E	理事 布田節子
5	7月12日	国立福島工業高等専門 学校	高等専門 学校生	20	C	理事 布田節子
6	7月16日	福島市杉妻学習セン ター	一般	22	F	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
7	7月24日	しんまち学童クラブ	小学生 保護者	30	A	理事 布田節子
8	7月28日	伊達市立桃陵中学校	英語教師	20	E	理事 布田節子
9	8月2日	小野町多目的研修集 会施設	小学生 一般	40	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
10	8月27日	本宮市立五百川小学 校	小学生	50	F	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
11	8月27日	本宮市立岩根小学校	小学生	54	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
12	9月4日	学法福島高等学校	高校生	90	E	理事 布田節子
13	9月4日	学法福島高等学校	高校生	90	E	理事 布田節子
14	9月10日	本宮市立第二中学校	中学生	99	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
15	9月10日	本宮市立まゆみ小学 校	小学生	52	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
16	9月11日	本宮市立第一中学校	中学生	25	E	理事 布田節子
17	9月11日	本宮市立和田小学校	小学生	28	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
18	9月11日	本宮市立本宮小学校	小学生	56	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
19	9月13日	田村市社会福祉協議 会	小学生	40	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子

20	9月18日	伊達市立伊達小学校	小学生	81	E	理事 布田節子
21	9月20日	郡山ザベリオ学園中学校	中学生	60	D	理事 布田節子
22	10月7日	当協会	白河市国際交流協会役職員	14	C	理事 布田節子
23	10月10日	郡山市立大槻東地域公民館	一般	50	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
24	11月4日	福島市立野田小学校	小学生	120	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
25	11月7日	国見町立国見小学校	小学生	85	F	理事 布田節子
26	11月13日	国見町立国見小学校	小学生	83	D	理事 布田節子
27	11月20日	本宮市立本宮第一中学校	中学生	133	D	理事 布田節子
28	11月20日	本宮市立白沢中学校	中学生	83	D	理事 布田節子
29	11月27日	田村市立岩井沢小学校	小学生	5	E	理事 布田節子
30	11月27日	田村市船引小学校	小学生	105	D	理事 布田節子
31	11月29日	福島市北信学習センター	小学生	22	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
32	12月6日	郡山ザベリオ学園中学校	中学生	60	D	理事 布田節子
33	12月11日	福島市立福島第一小学校	小学生	57	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
34	12月13日	本宮市民元気いきいき応援プラザ	一般	40	E	理事 布田節子
35	12月13日	福島市北信学習センター	小学生	22	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
36	12月16日	福島市立福島第一小学校	小学生	27	C	理事 布田節子
37	12月16日	福島市立福島第一小学校	小学生	31	C	理事 布田節子
38	12月17日	福島市立福島第一小学校	小学生	53	B	国際交流員 ビビアン・ヒ

39	12月17日	ブリティッシュヒルズ	高校生 一般	60	E	理事 布田節子
40	12月18日	福島市立清明小学校	小学生	30	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
41	12月18日	福島市立清明小学校	小学生	34	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
42	12月23日	会津坂下町坂下中央 公民館	小学生	30	D	理事 布田節子
43	1月10日	福島成蹊高校	高校生	30	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
44	1月10日	福島成蹊高校	高校生	30	A	理事 布田節子
45	1月19日	福島市立清明小学校	小学生	56	D	理事 布田節子
46	1月22日	福島市立平田小学校	小学生 保護者	110	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
47	1月24日	川俣町本町コミュニ ティ消防センター	一般	30	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
48	2月6日	福島市立大森小学校	小学生	30	D	理事 布田節子
49	2月10日	白河市立小田川小学 校	小学生	33	D	理事 布田節子
50	2月10日	白河市立小野田小学 校	小学生	13	E	理事 布田節子
51	2月18日	喜多方市立山都小学 校	小学生	20	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
52	2月19日	白河市立信夫第二小 学校	小学生	21	C	理事 布田節子さん
53	2月21日	郡山ザベリオ学園中 学校	中学生	60	F	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
54	2月21日	南相馬市役所	一般	20	E	理事 布田節子
55	2月25日	白河市立五筒小学校	小学生	23	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
56	2月25日	白河市立白河第二小 学校	小学生	110	F	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子

(のべ参加者数 2,681名)

(2) ふくしまグローバルセミナー2014

福島県国際理解教育ネットワーク（構成団体：福島県、福島県教育委員会、JICA二本松、当協会）の主催により、多文化共生、国際理解、国際交流及び国際協力について考えるため、外国出身者による母国紹介や国際協力現場レポートなど幅広い内容の講座を実施した。

- 日 時：12月20日（土）10：30～21日（日）11：40
- 会 場：JICA二本松
- 参加者：高校生以上一般 140名
- 内 容：全体会、昼食/夕食交流会、セッション（「メディア・リテラシー」他15講座）
 グロセミカフェ、自主セッション（「目を覚ます最貧国」他10講座）

(3) ワン・ワールド プロジェクト

外国出身者と地域住民とが、お互いの価値観に直に触れることにより、より深く異文化を理解することを目的として、協力し合って1つの作品を創り上げるための打合せや準備を行い、作品を製作した。

- 作品（映像）
 - 題 名：福島の魅力 Do flowers bloom in Fukushima?
 - テ ー マ：震災後の福島の元気を探す旅
 - 時 間：7分程度
 - 内 容：「花は咲く」のBGMに乗せて、福島県内で頑張っている人々の写真やインタビューの様子、福島の風景などを映し出したもの
- 公表方法：YouTubeへのアップ、ふくしまグローバルセミナーでの発表など

○ 内訳

回	月 日	場 所	内 容	参加人数 (うち外国 出身者数)
1	8月2日(土) 13:30～16:00	当協会研修室	第1回打合せ（自己紹介、アイデアの出し合いとまとめ等）	9(3)
2	8月30日(土) 13:30～16:00	当協会研修室	第2回打合せ（今後の日程及び進め方の決定等）	6(2)
3	9月13日(土) 13:30～16:15	当協会研修室 稲荷神社	第3回打合せ（作品の方向性及び詳細の決定、取材等）	7(3)
4	10月11日(土) 10:30～16:00	福島市内	第4回打合せ（曲の録音、取材等）	6(2)
5	11月22日(土) 13:00～16:15	当協会研修室	第5回打合せ（テーマの決定、ビデオの編集等）	4(1)
6	12月13日(土) 11:00～14:00	当協会研修室	第6回打合せ（ビデオの最終編集、YouTubeへのアップロード及び成果発表会）	6(2)

(のべ参加人数 38名 うち外国出身者 13名)

2 グローバル社会で活躍する次世代の人材育成

(1) ふくしまユースグローバルカレッジ 2014

概ね 39 歳以下の県内大学生及び社会人を対象として、グローバル社会で活躍する次世代の人材を育成するため、様々な世界規模の課題をテーマとして年間 6 回の連続講座を実施した。

回	月日及び会場	内 容	講 師 (敬称略)	参加人数(うち外国出身者数)
1	6月21日(土)10:00 ～22日(日)13:00 (宿泊) JICA 二本松	世界の多 様性	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 坂中澄子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま) 松井美樹 (ふくしまユースグローバルカ レッジ1期生) 高橋司 (ふくしま青年海外協力隊の会)	26(1)
2	7月19日(土)9:30 ～16:00 当協会	異文化コミ ュニケーシ ョン	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 坂中澄子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま) 松井美樹 (ふくしまユースグローバルカ レッジ1期生)	14(1)
3	9月6日(土)9:30 ～16:00 当協会	メディア・ リテラシー	石川一喜 (拓殖大学国際開発研究所准教授)	5(1)
4	10月18日(土)9:30 ～16:00 当協会	地球規模の 課題	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 坂中澄子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま)	6(1)
5	12月20日(土)10:30 ～21(日)15:00 (宿泊) JICA 二本松	ふくしまグ ローバルセ ミナーへの 参加と振り 返り	同上	9(1)
6	2月7日(土)13:00 ～16:30 当協会	成果発表	—	8(1)

(のべ参加人数 68 名 うち外国出身者 6 名)

(2) 次世代の海外研修への助成

非営利の国際交流団体等が主催する海外研修プログラムに参加する 2 名に対し、総額 20 万円の助成を行った。

また、その研修成果をふくしまグローバルセミナー2014(P5)の自主セッション又は助成対象活動等報告会 (P24) において発表してもらった。

No	氏名(所属)	研修名(国名)	交付額(万円)
1	立川朱音 (桜の聖母短期大学)	桜の聖母2014カナダ研修プログラム(カナダ)	10
2	坂下佑太 (福島大学)	福島大学経済経営学類・海外フィールドワーク「NGO 大国・バングラデシュにおける NGO の役割に関する実態調査」(バングラデシュ)	10

II 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進

【目標】

外国出身県民が、地域住民として等しく行政サービスが受けられ、地域づくりのパートナーとして活躍できるよう環境の整備を推進する。

【目標指数】

項目	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績(達成率)
外国出身のふくしま多文化共生サポーター活動人数	56	58(104%)

【事業実績】

1 安全・安心な地域づくりの推進

(1) 多言語による行政サービスの提供

【多言語による相談窓口】

多言語相談員 1 名と通訳員 3 名を配置し、中国語と英語は随時、韓国語、タガログ語、ポルトガル語については、毎週木曜日 10:00~14:00 (第 4・第 5 木曜日は予約制) に、行政サービスや在留資格など外国出身県民に関わる各種問い合わせに対応した。

- 相談件数：522 件（前年度比 125%）
- 相談言語：日本語(280)、中国語(220)、タガログ語(13)、英語（7）、ポルトガル語(2)
- トリオフォン利用件数：21 件（前年度比 105%）
- 主な相談内容と出身国

内容 出身国	生活 全般	日本 語	交流	医療	在留 資格	労働	家族	その他	合計
中 国	117	13	20	29	18	12	10	22	241
日 本	45	93	46	9	5	11	6	6	221
フィリピン	6	6	1		2		6	6	27
ブラジル	1		1					2	4
韓 国	2	1							3
そ の 他	3	2	11	2	2	3	1	2	26
合 計	174	115	79	40	27	26	23	38	522

【相談窓口等の広報カードの作成及び配付】

- 発行月：8 月
- 仕 様：名刺サイズ 片面単色刷り 200 部
- 内 容：多言語相談窓口及びトリオフォンについて
- 配付先：市町村国際交流担当課、市町村国際交流協会、保健福祉事務所、児童相談所等

【外国出身者のための相談窓口広報 SOS カードの作成及び配付】

- 発行月：2 月
- 仕 様：名刺サイズ 4 ページ、全面 2 色刷り 5,000 部
- 内 容：相談窓口や緊急時対応について
- 配付先：日本語教室、市町村国際交流協会、外国出身者コミュニティ、エスニック料理店等

(2) 多言語による相談対応

【外国語による地震情報センター】

震災後、福島県国際課と協力して立ち上げた「外国語による地震情報センター」において、福島県の「東日本大震災関連情報」の一部を英語と中国語に翻訳して県HPにアップし、情報提供することを継続するとともに、通常の「多言語による相談」業務内で電話やメール等での相談に対応した。

- 相談件数：31 件(前年度比 55%)
- 相談言語：日本語(31 件)
- 主な相談内容と相談者の出身国（件数）
 - 中国出身者：中国の新聞社より放射線量の人体への影響について(1)
 - カナダ出身者：震災後の福島県の状況の問い合わせ(1)
 - スウェーデン出身者：被災者へのインタビューの問い合わせ(1)
 - 日本：報道関係者等から在住外国人等被災者に関する問い合わせ(10)
 - 県内市町村や一般からの復興事業等に関わる通訳等の問い合わせ（6）
 - 復興支援プログラムの企画相談(3)
 - 他県の国際交流協会からの寄附の問い合わせ(2)
 - その他、当協会発行の報告書や保養プログラムの問い合わせ(7)

(3) 外国の子どものサポート

サントリーホールディングス×セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンによる「フクシマ スム プロジェクト 福島子ども支援 NPO 助成」の助成金を活用して、専従スタッフ1名を配置し、下記の事業を行った。

【外国の子どもサポートセンターの開設等】

「外国の子どもサポートセンター」を当協会内に4月1日付けで開設し、子どもの保護者や教育関係者、日本語ボランティア等の支援者からの子どもへの支援の在り方や具体的内容についての相談、図書や教材に関する問い合わせ等に対応した。また、関係機関に対し訪問やパンフレット等の配付により周知を図るとともに、当協会 HP 上に専用のサイトを設けた。

【帰国・外国籍児童生徒等関係団体連絡会議】

県内3会場において、事例報告及び情報交換を行った。

	月日及び会場	内容及び講師（敬称略）	参加人数 (うち外国出身者数)
福島会場	6月6日（金） 13:30～16:00 当協会	[事例報告] ○「学校で母語を活用した外国の子どもの支援について」 楊蕾（ふくしま多文化共生サポーター） ○「地域ボランティア教室での外国の子どもの日本語支援について」 佐々木千賀子（ふくしま子どもの日本語ネットワーク代表） ○「教育委員会としての外国の子どもの支援について」 大内剛（二本松市教育委員会学校教育課指導主事）	25(1)

郡山会場	6月11日(水) 13:30~16:00 郡山市総合福祉センター	<p>[事例報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域ボランティア教室での外国の子どもの日本語支援について」 三田真理子(こおりやま日本語教室代表) ○「学校で母語を活用した外国の子どもの支援について」 城坂愛(ふくしま多文化共生サポーター) ○「教育委員会としての外国の子どもの支援について」 須藤瑞穂(須賀川市教育委員会学校教育課指導主事) 	20(5)
会津会場	6月19日(木) 13:30~16:00 会津稽古堂	<p>[事例報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域の外国の子どもの支援について」 馬嘉利(会津若松市国際交流協会国際交流員) ○「学校での外国の子どもの日本語支援について」 坂本砂知(ふくしま多文化共生サポーター) ○「教育委員会としての外国の子どもの支援について」 小杉一浩(喜多方市教育委員会学校教育課指導主事) 	8(1)

(のべ参加人数 53名 うち外国出身者 7名)

【外国の子ども支援者研修会】

県内3会場において、下記のとおり同じ内容で研修会を実施した。

	日時及び会場	内容及び講師(敬称略)	参加人数 (うち外国出身者数)
1	7月13日(日) 10:00~15:30 会津若松市南公民館	<p>[講話1]</p> <p>テーマ:母語話者ができるサポート 講師:楊蕾(ふくしま多文化共生サポーター)</p>	7(3)
2	8月24日(日) 10:00~15:30 当協会	<p>[講話2]</p> <p>テーマ:母語による早期適応支援でおさえたいサポート 講師:長藤節子(山形子どもサポートネット代表)</p>	21(13)
3	9月7日(日) 10:00~15:30 郡山市ニコニコこども館	<p>[グループワーク]</p> <p>講演内容の振り返り及び想定した子どもについての支援内容や順序についての意見交換</p>	16(5)

(のべ参加者数 44名 うち外国出身者 21名)

【ふくしま外国の子ども支援団体連絡会】

外国の子どもの支援に関わる様々な団体が、情報交換、意見交換等により問題意識を共有し、お互いの連携と協力を深めることにより、外国の子どもが安心して学び成長で

きる地域をつくることを目的として、ふくしま外国の子ども支援団体連絡会を設置するとともに、第1回会議を開催した。

- 日 時： 12 月 11 日（木） 13：00～15：30
- 会 場： ホテルサンルートプラザ福島
- 参加者： 会員 44 団体中 36 団体（うち外国出身者 4 名）
- 内 容： 報告①「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」（報告者：福島県教育庁義務教育課指導主事 助川徹）
報告②「これまでの自分を振り返って」（報告者：福島県立福島中央高校 1 年生 ウサマ）
記念講演「地域のグローバル化と外国につながる子どもの教育」（講師：宇都宮大学国際学部特任准教授 若林秀樹）

【外国出身生徒に関わる巡回相談】

県立高校からの希望に応じ、日本語での意思疎通が難しい外国出身生徒の相談に応じた。

- 日 時： 7 月 24 日（木） 13:00～14:30
- 会 場： 会津地方 高校
- 相談者： 中国出身生徒 2 名
- 言 語： 中国語
- 内 容： 学校生活や進路について

【外国の子どもに対するサポーター活動のコーディネート】

外国の子どもに対するサポーター活動について、以下のとおりサポーターの紹介及び一部の事例における活動経費の支援を行った。

なお、※は、当協会では活動経費を支援した事例である。

No	期 間 (延べ時間)	場 所	内 容	活動人数 (うち外国出身者数)
1※	4 月 4 日 ～6 月 10 日 (52 時間)	県南地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(1)
2※	4 月 16 日 ～7 月 10 日 (50 時間)	県南地方 中学校	中国出身生徒への心のケア、早期適応支援、日本語指導	2(1)
3	6 月 13 日 ～11 月 27 日 (48 時間)	県北地方 中学校	フィリピン出身生徒への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(0)
4※	6 月 4 日 ～11 月 27 日 (50 時間)	県北地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(0)

5	6月27日 ～11月14日 (48時間)	県北地方 小学校	フィリピン出身児童への心のケア、 早期適応支援、日本語指導	1(0)
6	9月2日 ～11月28日 (48時間)	県北地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適 応支援、日本語指導	1(0)
7※	9月24日 ～12月19日 (52時間)	会津地方 小学校	オーストラリア出身児童(2名)へ の心のケア、早期適応支援、日本語 指導	1(0)
8※	9月24日 ～12月17日 (12時間)	県中地方 中学校	中国出身生徒への心のケア、早期適 応支援、日本語指導	1(1)
9	10月1日 ～3月20日 (50時間)	県北地方 小学校	フィリピン出身児童への心のケア、 早期適応支援、日本語指導	1(0)
10※	10月1日 ～12月17日 (46時間)	県南地方 中学校	フィリピン出身生徒への心のケア、 早期適応支援、日本語指導	1(1)
11※	11月13日 ～12月19日 (30時間)	県中地方 小学校	フィリピン出身児童への心のケア、 早期適応支援、日本語指導	1(1)
12	11月18日 ～2月26日 (48時間)	県北地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適 応支援、日本語指導	1(1)
13	1月6日 ～3月26日 (99時間)	県北地方 中学校	フィリピン出身生徒への心のケア、 早期適応支援、日本語指導	2(1)
14	1月21日 ～3月11日 (34時間)	県北地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適 応支援、日本語指導	1(1)
15	2月25日 ～3月6日 (6時間)	県南地方 小学校	フィリピン出身児童への心のケア、 早期適応支援、日本語指導	1(0)
16	2月21日 ～5月21日 (45時間)	県北地方 高校	セネガル出身生徒の日本語指導	2(0)

(のべ活動人数 19名 うち外国出身者 8名)

【外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣等】

No	日 時	場 所	内 容	活動人数 (うち外国出身者数)
1	5月13日 13:30～15:30	県南地方 小学校	パキスタン出身児童及び保護者への学校生活についての通訳	1(1)
2	9月17日 15:00～17:00	県中地方 中学校	中国出身児童及び保護者への学校生活についての通訳	2(2)
3	9月25日 14:00～15:00	県中地方 中学校	中国出身児童及び保護者への学校生活についての通訳	1(1)
4	10月9日 14:00～16:00	県中地方 中学校	中国出身児童及び保護者への学校生活についての通訳	1(1)
5	10月16日 13:00～15:00	県中地方 中学校	中国出身児童及び保護者への学校生活についての通訳	1(1)
6	10月30日 14:00～15:00	県中地方 中学校	中国出身児童及び保護者への学校生活についての通訳	1(1)
7	11月22日 10:00～12:00	当協会	タイ出身児童の保護者への進路についての通訳	1(1)
8	12月17日 10:00～12:00	県北地方 幼稚園	中国出身園児の保護者への小学校入学準備についての通訳	1(0)
9	3月16日 10:00～12:00	県南地方 中学校	パキスタン出身児童の保護者への中学校進学についての通訳	1(1)

(のべ活動人数 10名 うち外国出身者 9名)

【外国の子ども支援活動団体の支援】

ふくしま子どもの日本語ネットワーク主催の「外国にルーツを持つ子どもたちのための土曜広場」の活動において、会場使用料の減免等のサポートを行った。

(4) 防災訓練への参加

県主催の「平成26年度福島県総合防災訓練」に参加し、訓練参加団体に対して、当協会の概要、災害時に外国出身者への配慮が必要であること及びその方法等の周知を図った。

○日 時：8月31日（日）8：30～12：00

○会 場：須賀川市民スポーツ会館

○参加者：7名（うち外国出身者6名）

- 内 容：指定避難所開設訓練及び災害ボランティアセンター設置・運営訓練における外国出身者避難者役及びボランティア役としての参加、避難所内での外国語表示、ブース設置による通訳・翻訳コーナーの開設、当協会業務の広報等

(5) 「福島生活（中国語版）」 「Fukushima Life(英語版)」 の提供

- 発行月：毎月1回
- 内 容：イベントレポート、生活情報、外国出身者からの投稿記事などの最新情報をWEBで発信した。

(6) 大規模地震発生時緊急放送用CDの制作

大規模地震が発生した場合に外国出身者に対し迅速な情報提供を行うためのCDを作成し、3月に県内のラジオ放送局、テレビ放送局及び各市町村に配付した。

- 言 語：英語及び中国語
- 内 容：第一報（地震発生直後から数時間までを想定）
慌てないこと、揺れが何度かくること、海の近くにいる人や運転中の人に対する注意、身の安全を確保すること等
第二報（数時間後から数日間を想定）
揺れはまだ続くこと、隣近所の人と助け合うこと、学校や公民館が避難所になっており水や食べ物、毛布があること等
- 規 格：英語(第一報)、英語(第二報)、中国語(第一報)、中国語(第二報)の4種各1分

2 活力ある地域づくりに参加できる環境整備の推進

(1) ふくしま多文化共生サポーターの活動促進

サポーターの登録を随時行うとともに、外部団体からの依頼に応じて適切な登録者を紹介し、また当協会主催事業においても積極的に登録者を活用するなど、その活動の促進を図った。

【登録者数】

- 人 数：172名（前年度比 134%）
- 出身国：日本（79）、中国（34）、韓国朝鮮（14）、フィリピン（18）、タイ（3）、台湾（3）、アメリカ（2）、インド（2）、ベトナム（2）、ブラジル（2）、インドネシア・トンガ・アルゼンチン・エジプト・モンゴル・ルワンダ・ポーランド・メキシコ・パキスタン・ウクライナ・オーストラリア、フィンランド、ウクライナ（各1）

(内 訳) ※複数登録あり

登録内容 居住地 (人数)	通訳・翻訳					国際理解	合計
	英語	中国語	韓国語	タガログ語	その他の言語		
県北(90)	36	22	12	9	27	44	150
県中(47)	22	15	6	3	14	28	88
県南(9)	6	2		3	2	4	17
会津(10)	4	4	1		4	5	18
いわき(8)	4	3		2	3	5	17
相双(3)	1				3	1	5
県外(5)	4	1			2		7
合計(172)	77	47	19	17	55	87	302

【コーディネーター数】

	カテゴリー	件数	活動人数 (うち外国出身者)
①	公的団体等からの依頼	38	57(38)
②	当協会主催事業への協力	5	5(4)
③	外国の子どもに対するサポーター活動	16	19(7)
④	外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣等	9	10(9)
	合計	68	91(58)

(内 訳)

① 公的団体等からの依頼

件数：38件（前年度比127%）

活動人数：57名（前年度比106%）

No	実施月日	場 所	内 容	依頼者	活動人数 (うち外国出身者)
1	4月17日		あいさつ文の翻訳(フランス語)	福島県国際課	1(0)
2	4月17日	伊達市役所保原本庁舎	インドネシアの紹介	伊達市国際交流協会	1(1)
3	4月25日	福島県庁ほか	農業研修生表敬訪問時等の通訳(マレー語)	(一社)福島県国際農友会	1(0)
4	5月9日	福島警察署	弁護士接見時の通訳(中国語)	福島県弁護士会	1(1)
5	5月30日	福島県庁ほか	県費留学生表敬訪問時等の通訳(ポルトガル語)	福島県国際課	1(1)
6	6月23日	伊達市石戸地区交流館	インドネシアの紹介	伊達市石田地区交流館	1(1)
7	7月12日	中島村生涯学習センター	マレーシアの紹介	中島村国際交流協会	1(1)
8	7月24日	福島運転免許センター	日本の運転免許への切替え時の通訳(英語)	二本松市教育委員会	1(0)
9	8月19日	福島県学校給食会	韓国の薬膳料理についての講話	福島県学校給食研究会栄養士部会県北方部	1(1)
10	8月26日～29日	ホテル辰巳屋ほか	在外県人会サミット全プログラムにおける通訳(スペイン語)	福島県国際課	1(1)
11	9月17日	福島市清水学習センター	フィリピンの紹介	福島市清水学習センター高齢者学級	1(1)
12	9月19日～20日	福島テルサほか	日本語教育に関する会議における受付等	文化庁	3(2)
13	9月26日	ケアサポかおる桑折事務所	中国の介護の実情についての講演	介護保険を考える会桑折支部	1(1)
14	10月14日～15日	飯坂温泉ほか	インバウンド観光のための外国人モニターツアー参加	(一社)福島市観光コンベンション協会	2(2)
15	10月22日	郡山北警察署	弁護士接見時の通訳(スペイン語)	福島県弁護士会	1(1)
16	11月22日	川俣町鶴沢公民館	ブラジル移民についての講話	川俣町国際交流協会	1(1)

17	11月9日	磐梯町交流館	「磐梯町国際交流音楽祭」での中国琴の演奏	磐梯町国際交流協会	1(1)
18	11月9日	ホテルハマツ	国際ユニヴァーサルデザイン会議知事主催レセプションでの通訳(英語)	福島県国際課	7(1)
19	11月28日	レストラン「サンダース」	ブラジルの紹介	福島ユネスコ協会	1(1)
20	12月12日	福島ビューホテル	台湾教育旅行関係者歓迎レセプションでの通訳(中国語)	(一社)福島県観光物産交流協会	3(2)
21	12月13日	裏磐梯ロイヤルホテル	台湾教育旅行関係者歓迎レセプションでの通訳(中国語)	(一社)福島県観光物産交流協会	4(4)
22	12月6日～7日	東京浅草寺境内	福島県と安達地方の観光物産展での通訳(英語、中国語、韓国語)	福島県県北地方振興局	6(2)
23	12月13日	除染情報プラザ	台湾教育旅行関係者視察通訳(中国語)	(一社)福島県観光物産交流協会	1(1)
24	1月14日	福島市清水学習センター	韓国の紹介	清水生きがいサークル	1(1)
25	1月29日	福島市信陵学習センター	ブラジルの紹介	福島市信陵学習センター	1(1)
26	1月29日	福島県中央児童相談所	相談者に対する通訳(タガログ語)	福島県中央児童相談所	1(1)
27	2月5日	福島運転免許センター	運転免許切り替え手続きの通訳(英語)	福島県立医科大学	1(0)
28	2月5日	福島県中央児童相談所	相談者に対する通訳(タガログ語)	福島県中央児童相談所	1(1)
29	2月12日	福島県中央児童相談所	相談者に対する通訳(タガログ語)	福島県中央児童相談所	1(1)
30	2月14日	福島市信陵学習センター	中国の餃子づくりの指導	福島市信陵学習センター	1(1)
31	2月20日	福島県女性のための相談支援センター	入所者に対する通訳(タガログ語)	福島県女性のための相談支援センター	1(1)
32	2月24日		シンポジウムで配布するアンケートの翻訳(英語)	福島県災害対策課	1(0)

33	2月26日	福島刑務所	弁護士接見時の通訳 (中国語)	日本司法支援 センター福島 地方事務所	1(1)
34	2月26日		福島市勢要覧の翻訳 (英語)	福島市役所	1(1)
35	3月15日	鏡石三区コ ミュニティセ ンター	ベトナム料理の指導	鏡石町国際交 流推進協議会	1(1)
36	3月14日	福島市信陵学 習センター	アルゼンチンの紹介	福島市信陵学 習センター	1(1)
37	3月15日	ホテル辰巳屋	シンポジウムでの通 訳(英語)	福島県災害対 策課	1(0)
38	3月19日	吉川屋	県主催レセプション での通訳(英語)	福島県国際課	1(0)

(のべ活動人数 57名 うち外国出身者 38名)

- ② 当協会主催事業への協力
 件数：5件(前年度比 83%)
 人数：5名(前年度比 26%)

No	実施月日	場 所	内 容	活動人数 (うち外国出 身者)
1	6月6日	当協会	「帰国・外国籍児童生徒等関係団体連 絡会議」での事例報告	1(1)
2	6月11日	郡山市総合 福祉センタ ー	「帰国・外国籍児童生徒等関係団体連 絡会議」での事例報告	1(1)
3	6月19日	会津稽古堂	「帰国・外国籍児童生徒等関係団体連 絡会議」での事例報告	1(0)
4	12月20日 ～21日	JICA 二本松	「ふくしまグローバルセミナー2014」 での講師	1(1)
5	3月22日	相馬市総合 福祉センタ ー	「わくわくワールドフェスタ in 相馬」 での当協会ブース内での県民との交流	1(1)

(のべ活動人数 5名 うち外国出身者 4名)

- ③ 外国の子どもに対するサポーター活動 (P12 に記載のとおり)
 件数：16件(前年度比 200%)
 人数：19名(前年度比 211%)
- ④ 外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣等 (P13 に記載のとおり)
 件数：9件(前年度実績なし)
 人数：10名(前年度実績なし)

【ふくしま多文化共生サポータースキルアップ研修会の開催】

ふくしま多文化共生サポーター登録者を対象に研修会を開催し、登録者の資質向上を図った。

	日時及び会場	内容及び講師（敬称略）	参加人数 （うち外国出身者数）
福島会場	11月1日（土） 10：00～16：00 当協会	[ワークショップ1] テーマ：国際理解のための講座に役に立つ手法 講師：布田節子（当協会等主催の国際理解出張講座講師）	14(7)
郡山会場	11月8日（土） 10：00～16：00 郡山市総合福祉センター	[ワークショップ2] テーマ：通訳の心構えと自己トレーニング法 講師：菅野エリ（法廷通訳・福島NHK文化センタースペイン語講師）	18(8)

(2) 外国出身者コミュニティとの協働事業

災害時における外国出身者コミュニティの自助力・共助力の向上、情報伝達や状況把握のキーステーションとしての役割の強化を図ることを目的として、下記のとおり外国出身者コミュニティと当協会とで協働事業を実施し、外国出身者コミュニティの組織運営能力の強化及び当協会とのネットワークの構築を図った。

No	実施月日	場 所	外国出身者コミュニティの名称 （協働先）	内 容	参加人数 （うち外国出身者）
1	7月12日（土） 10:00～16:00	須賀川市立大東公民館	つばさ一日中ハーフ支援会	講習会「日本の教育制度を知りましょう」	12(12)
2	8月29日（金） 13:30～16:00	いわき市文化センター	Iwaki Filipino Community	「ストレスマネジメント」ワークショップ	16(16)
3	10月11日（土） 10:00～12:00	いわき市生涯学習プラザ	子ども向け中国語サークル「パング」	講習会「日本の小学校に入学するにあたって」	8(5)
4	10月12日（日） 14:00～16:00	ベトナム料理店「ミリサイゴン」	（会津地域在住のベトナム出身者）	講習会「日本における化粧の作法」	5(5)

5	10月19日(日) 11:00~15:00	三春町国際 交流館	福島県台湾同郷 会	台湾フェア	52(6)
6	10月26日(日) 14:00~16:30	当協会	(カトリック松 木町教会に通う フィリピン出身 者等)	講習会「国際結婚の ライフスタイルに 応じた在留資格に ついて」	8(6)
7	11月3日(月) 13:30~16:00	郡山市小山 田地域公民 館	福島県中国帰国 者の会	講習会「高齢者の健 康管理～漢方医学 から～」	14(14)
8	11月15日(土) 13:30~16:00	当協会	チームブラジル	講習会「日本での老 後に備えて」	11(11)
9	12月7日(日) 12:00~14:00	当協会	Hawak Kamay Fukushima	ワークショップ「栄 養のバランスの取 れた食事について」	8(8)
10	1月11日(日) 14:30~16:30	郡山市民交 流プラザ	(県中地域在住 のベトナム出身 者等)	「外国人のための 防災講座～地震に 備えるために～」	17(10)
11	1月24日(土) 13:30~15:00	いわき市文 化センター	福島多文化団体 「心ノ橋」	講習会「日本の礼 法」	19(19)

(のべ参加人数 170名 うち外国出身者 112名)

III 多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進

【目標】

県、市町村や市町村国際交流協会、日本語教室、国際交流・協力団体など国際交流活動を行っている多様な関係団体との調整・連携を一層強化し、国際交流活動が県内各地で展開できるよう環境を整備していく。

【目標指数】

項目	平成26年度 目標	平成26年度 実績(達成率)
外国出身県民にかかわる ものも含めた相談件数	910	881 (97%)
HP トップページ※ アクセス数	115,000	51,419(45%)

※HP 訪問者数 (同じ人が1日複数回訪問しても1人とカウント) 205,852人
(前年度比74%)

【事業実績】

1 人材育成やネットワーク化の推進

(1) 日本語教室の活動支援

【日本語ボランティアへの情報提供・相談対応】

日本語教室メーリングリストを活用し、研修会等の情報提供や外国出身者に対する地域の日本語教室の案内及び日本語ボランティアからの教材の相談等に応じた。

【日本語教室代表者ネットワーク会議】

○日 時： 3月7日（土）10：15～14：30

○会 場： 当協会

○参加者： 20 教室（21 名）

○内 容： 新たなボランティアの確保、学習者の新規開拓のための魅力ある教室運営及び当協会・福島大学との連携についての意見交換、「日本語学習支援ネットワーク会議 2015」についての協議

(2) 市町村国際交流協会等との連携強化

【市国際交流協会ネットワーク会議】

○日 時： 10月16日（木）12：15～15：45

○会 場： 会津稽古堂及び会津若松市国際交流協会

○参加者： 8 協会（9 名）

○内 容： 会津若松市国際交流協会の視察、会津大学の国際交流事業の取り組みについての講話、情報・意見交換

【国際交流関係フェスティバル等への出展】

県内各地で開催された国際交流フェスティバルにブース出展協力し、当協会事業を紹介するとともに、外国出身県民の協力を得た異文化理解クイズなどを通じ、県民との交流を行った。

No	実施日時	場 所	主催者	フェスティバル等の名称	全体の入場者数
1	5月18日（日） 11:00～15:00	福島市街なか広場	Hawak Kamay Fukushima	Move Forward# ハワクカマイ	100
2	9月14日（日） 10:30～15:30	福島市アクティブシニアセンター AOZ	福島市国際交流協会	結・ゆい・フェスタ	800

3	10月4日(日) 10:00~15:00	会津若松市 鶴ヶ城体育館	会津若松市国 際交流協会	国際交流フェス ティバル2014	3,000
4	3月22日(日) 10:00~13:30	相馬市総合 福祉センタ ー	NPO法人相馬 国際交流の 会、わくわく ワールドフェ スタ実行委員 会	わくわくワール ドフェスタ in 相馬	700

【市町村国際交流協会への訪問】

- 期 間：4月、7月
- 訪問先：福島市、いわき市、会津若松市、郡山市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市の計10市町国際交流協会及び会津坂下町の国際交流担当部署
- 内 容：地域の状況把握、当協会事業への理解と協力依頼

2 相談・情報提供

(1) 国際交流に関わる相談対応

- 相談件数：328件(前年度比131%)
- 内訳

相談者 \ 相談内容	協会業務	団体運営	人の紹介	国際理解教育	通訳翻訳	イベント情報	国際化の現状	留学語学	日本語関係	その他	合計
一 般	21	1	7	2	7	10		11	2	4	65
国際交流・協力団体	18	28	1	1		2	3		2		55
行政関係	10	3	10	7	13		1				44
教育関係者	4	5	6	19	1	2	1		2	2	42
各種団体等	7	14	6	4	8		1			2	42
市町村国際交流協会	13	10	4	6	4		1		3		41
報道関係者	2		13		2	1	5				23
県外	8	4	3			1					16
合計	83	65	50	39	35	16	12	11	9	8	328

(2) 広報紙「G y r o (ジャイロ)」の発行

- 発行月：年3回（8月、10月、3月）
- 仕様：A4版8ページ、表紙・裏表紙カラー刷り、3,000部
- 内容：当協会の主催事業（外国の子どもサポート事業等）の案内、平成25年度事業報告（震災復興関連）、理事長メッセージなど
- 配付先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体ほか

(3) デジタルによる情報提供

IT専門嘱託員を1名配置し、中国語版・英語版ホームページにおける外国出身県民に対する防災情報ページの更新や県内日本語教室情報など、国際交流等の各種事業について迅速で効果的な情報提供を行った。

【ホームページの更新】

ホームページの内容更新やリンク切れの確認などを逐次行った。ホームページの最新情報の更新については、即時実施するよう努めた。

- トップページアクセス件数：51,419件（前年度比62%）
- ホームページ訪問者数：205,852人（前年度比74%）

【メールマガジン、フェイスブック及びツイッターによる情報発信】

国際交流に関する身近なイベント情報などをメールマガジンで、さらに7月からは身近な生活情報等についてフェイスブックやツイッターでタイムリーな情報発信を行った。

- メールマガジン
 - 登録者数：205名（前年度比107%）
 - 発信回数：25回（前年度比109%）
- フェイスブック
 - 登録者数（「いいね！」）：135名（前年度実績なし）
 - 投稿数96件（前年度実績なし）
- ツイッター
 - 登録者数（フォロワー数）：20名（前年度実績なし）
 - 発信数（ツイート数）：64件（前年度実績なし）

3 調査研究・提言

(1) 日本語教室活動実態調査

日本語を学びたい外国出身県民や、日本語をボランティアで教えたい県民に対し、日本語教室の最新の活動状況を提供するため、県内の日本語教室の活動状況について実態調査を行った。

また、その内容を当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：33団体(休止中1団体を含む)

(2) 民間国際交流・協力団体活動実態調査

国際交流・協力活動に参加したい県民に対し、国際交流・協力団体の最新の活動状況を提供するため、各団体の活動状況について実態調査を行った。

また、その内容を当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：103団体

4 協働事業の推進

(1) 国際交流・協力活動への助成

福島県内に団体の所在地があり団体運営に必要な事項を定めた会則等、活動実績等を有する非営利の民間団体6団体の6事業に対し、総額44万円の助成を行った。

NO	団体名	活動名	交付額 (万円)
1	フレンドシップいわき	日本の伝統文化の紹介、並びに体験と交流	5
2	Hawak Kamay Fukushima	Hawak Kamay Move Forward Event	9
3	国際女性教育振興会 ふくしま(県北支部)	ジョージア州ウッズランド 高校生「震災・復興支援」来福交流	10
4	福島県日中友好協会	「福島復興!日中友好交流の集い2014」	5
5	ふくしま・ベトナム友好協会	在福ベトナム人留学生とのスキー交流会	10
6	つばさ ～日中ハーフ支援会～	国際理解講演会 題名:美しき日本語ー日本語で外国人と コミュニケーションのため 講師:奥秋和夫	5

【助成事業等報告会】

- 日 時：2月7日（土）13:00～16:30
- 場 所：当協会
- 参加者：19名
- 内 容：「国際交流・協力活動への助成事業」対象団体及び「次世代の海外研修助成事業」対象者からの報告、ふくしまユースグローバルカレッジ生による成果発表、参加者交流会

IV 世界に向けた福島発信

【目標】

福島県の復興の様子をありのままに発信する。

【事業実績】

1 情報の発信

(1) 震災復興版ジャイロ『がんばろう福島』の発行

福島県に暮らす外国出身者や県外・海外の外国人に向けて、不必要な不安を取り除き、また、国内、海外からの福島に対する風評を抑えるため、国内外に向けて福島の復興が進む現状を多言語で発信した。

【ホームページ上での掲載】

- 発行回数：月3～4回ブログ発信
- 言 語：日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語の6か国語
- 内 容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント等

【印刷物】

- 発行月：年4回（7月、10月、12月、3月）
- 発行部数：日本語1,000部（7月及び12月）
日本語、中国語、英語 各1,000部（10月及び3月）
- 仕 様：A4版 2ページ 両面カラー刷り
- 内 容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント等
- 配 付 先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体等

V その他

1 関係機関への講師等派遣

関係機関主催事業に対し、講師等として当協会役職員を派遣した。

No	月 日	主催者	事業名等	役職員名
1	5月1日～	福島県社会福祉協議会	第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員	専務理事 斎藤 隆
2	5月1日～	福島県社会福祉協議会	第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま専門部会委員	主任主査 幕田順子
3	7月3日	ふくしま復興支援フォーラム	外国出身県民にとっての東日本大震災・原発事故	専務理事 斎藤 隆
4	9月18日	東海北陸地域国際化協会連絡協議会	災害時における外国人支援ネットワーク東海北陸ブロック研究会	専務理事 斎藤 隆
5	11月4日	福島県立福島南高等学校	職業体験を聞く会	主事 菅本裕介
6	11月5日	郡山市小学校国際理解教育研究部会	秋の半日研修会	主任主査 幕田順子
7	1月14日	(一社) 福島県警備業協会	経営者研修会	専務理事 斎藤 隆
8	2月19日	(公財) 山形県国際交流協会	国際交流・国際協力団体懇談会	主任主査 幕田順子

2 関係機関誌等への原稿協力

	機関誌名	発行者	題 名
1	「生活と環境」(12月号)	(一財) 日本環境衛生センター	外国出身県民にとっての東日本大震災・原発事故
2	平成25年度多文化共生事業事例集	(一財) 自治体国際化協会	外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故を考える福島フォーラム

3 東日本大震災・原発事故被災地視察団の受入れ

- (1) Japan Society 米国人教員日本研修ツアー(福島視察)
 - 主催：Japan Society(本部：アメリカ)
 - 月日：7月16日(水)～17日(木)(1泊2日)
 - 参加者：アメリカの高等学校等教員8名、Japan Society 関係者2名 計10名
 - 視察先：福島市立清明小学校、除染情報プラザ、二本松岳下仮設住宅、相馬市内(防災備蓄倉庫、震災慰霊碑等)、相馬野馬追展示(香の蔵)、南相馬ソーラー・アグリパーク、浪江町内(駅周辺、鎮魂碑等)

4 その他の受入れ

- (1) 福島市「中学生ドリームアップ事業」職場体験活動
 - 期間：9月2日(火)～5日(金)
 - 人数：福島市立吾妻中学校2年生3名
 - 内容：当協会事務所内での各種業務の体験、当協会通訳員へのインタビュー、国際理解出張講座見学、市内日本語教室への視察等

- (2) 大学生インターンシップ
 - 期間：9月16日(火)及び17日(水)
 - 人数：新潟大学3年生1名
 - 内容：当協会事務所内での各種業務の体験、青年海外協力隊派遣前訓練修了式・壮行会の視察等

- (3) 白河市国際交流協会視察研修
 - 日時：10月7日(火)14:45～16:30
 - 人数：白河市国際交流協会役職員14名
 - 内容：講話「県内の市町村国際交流協会の現状」、出張講座の体験等